



JASDAQ

平成25年11月14日

各位

シライ電子工業株式会社  
代表取締役社長 小島 甚昭  
(コード番号: 6658)  
問い合わせ先: 取締役 経理・財務担当  
小谷 峰 藏  
電話番号: 075-861-8100

営業外収益の計上及び平成26年3月期第2四半期業績予想との差異の発生に関するお知らせ

当社は、平成26年3月期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におきまして、下記のとおり営業外収益の計上を行うことになりました。

また、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の連結業績予想及び個別業績予想に差異が発生することになりましたのでお知らせいたします。

## 記

### 1. 営業外収益の計上

当社はシンジケートローンによる借入れを実行し、海外子会社に対して円建てで設備投資資金を貸付けております。また、運転資金としてドル建てによる貸付けを実行しております。

このため、連結決算上、平成26年3月期第1四半期連結累計期間では415百万円の為替差益を計上いたしました。その後為替相場が円安基調で推移したことに伴い、当第2四半期連結累計期間におきましては、連結決算上、為替差益705百万円を計上することになりました。なお、これは平成26年3月期第2四半期末時点での為替相場による評価換算であり、通期の為替差損益の額は、平成26年3月期末の為替相場により変動いたします。

### 2. 業績予想との差異

#### ① 平成26年3月期第2四半期連結業績予想数値との差異

(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	11,500	180	300	278	19.89
今回実績(B)	11,998	305	879	633	45.33
増減額(B-A)	498	125	579	355	—
増減率(%)	4.3	69.4	193.0	127.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	11,518	△82	△137	△208	△14.94

② 平成26年3月期第2四半期個別業績予想数値との差異  
(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,500	0	60	37	2.65
今回実績(B)	5,637	38	156	41	2.93
増減額(B-A)	137	38	96	4	—
増減率(%)	2.5	—	160.0	10.8	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	6,049	80	124	70	5.01

3. 差異発生の理由

(連結)

売上高につきましては、プリント配線板事業におきましては、カーエレクトロニクス関連を中心に、ホームアプライアンス関連、電子応用関連も堅調に推移いたしました。また、プリント配線板外観検査機事業は、フルモデルチェンジしたプリント配線板外観検査機 VISPETR シリーズが、中国・台湾を中心に安定した受注があったことから、平成25年5月14日に公表(以下「前回公表」という)いたしました業績予想と比べ4億98百万円増収となる119億98百万円となりました。

営業損益につきましては、売上高が増収となったことや製造力強化活動の展開により主に海外での収益が改善したこと、またグループを挙げて販売費及び一般管理費の圧縮に取り組んだことにより、前回公表いたしました業績予想に比べ1億25百万円増益となる3億5百万円の営業利益となりました。

経常損益につきましては、営業利益が改善したことや円安の進展により為替差益が増加したことなどにより前回公表いたしました業績予想に比べ5億79百万円増益となる8億79百万円の経常利益となりました。

四半期純損益につきましては、経営体質の強化を目的とした事業構造改革の一環として希望退職者の募集を行ったことから、これに伴い発生する特別加算金、再就職支援費用等の希望退職関連費用を特別損失に計上いたしましたが、前回公表いたしました業績予想に比べ3億55百万円増益となる6億33百万円の四半期純利益となりました。

(個別)

売上高につきましては、国内市場は厳しい状況にあるものの、カーエレクトロニクス関連やホームアプライアンス関連の受注を確保し、アミューズメント関連や電子応用関連の受注も増加したことから、前回公表いたしました業績予想と比べ1億37百万円増収となる56億37百万円となりました。

営業損益につきましては、製造原価低減活動による原価率の改善や販売費及び一般管理費の圧縮などにより、前回公表いたしました業績予想に比べ38百万円増益となる38百万円の営業利益となりました。

経常損益につきましては、営業利益の増益や海外子会社への貸付に対する受取利息の増加、また為替差益の発生などにより、前回公表いたしました業績予想に比べ96百万円増益の1億56百万円の経常利益となりました。

四半期純損益につきましては、経営体質の強化を目的とした事業構造改革の一環として希望退職者の募集を行ったことから、これに伴い発生する特別加算金、再就職支援費用等の希望退職関連費用を特別損失に計上いたしましたが、前回公表いたしました業績予想に比べ4百万円増益の41百万円の四半期純利益となりました。

以 上